

生分解性マルチの導入

- みどりの食料システム戦略で掲げた各目標の達成に貢献しうる、現場への普及が期待される技術を『「みどりの食料システム戦略」技術カタログ』として公表。

サトイモ栽培での生分解性マルチ資材 利用技術の開発

問い合わせ先：愛媛県農林水産研究所 TEL：089-993-2020
e-mail：nourinsuisan-ken@pref.ehime.lg.jp

2023年目途公開

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

その他
(労働生産性)

生産 品目：サトイモ

技術開発の目指す姿・目的

【背景】

サトイモは水田営農における高収益品目であることから、愛媛県では更なる生産振興に取り組んでおり、今後も出荷量の拡大が見込まれている。県内のサトイモ栽培では、収量や品質向上を目的に全期マルチ栽培技術（畝立から収穫までビニールマルチ資材で被覆）が普及している。

【目指す姿】

ビニールマルチ資材は、土壌中や自然界に長く残存するために収穫時に除去し、産業廃棄物として処理する必要がある。そこで、サトイモの栽培期間中は分解しにくく、かつ栽培土壌が乾燥しにくい生分解性マルチ資材を利用することで、資材除去および処分が不要な栽培技術の開発を目指す。

期待される効果

◎温室効果ガス排出の低減

トラクタ等での資材除去作業不要による省力化

◎プラスチック廃棄物の削減

10a当たり800m（1.2m幅）必要なビニールマルチ資材の除去・処分費用15,000円程度が不要

◎生分解性マルチ資材の利用拡大

最適な生分解性マルチ資材の利用促進による価格低下



（左）ビニールマルチ資材と除去風景



（右）生分解性マルチ資材の分解状況と圃場すき込み風景

これまでの研究開発成果・進捗状況

- ・ 2021年から生分解性マルチ資材選定試験を開始するとともに、試験導入している県内栽培圃場においても生育・収量及び適応性調査を実施

今後の開発スケジュール・その他

- **スケジュール（今後5年程度）**
2023年を目標にサトイモ栽培に最適な作業性、分解時期、収量性・品質確保を目指した生分解性マルチ資材を選定
- **その他**
農協、開発・販売メーカーとの連携を予定